

あいめーる

SPRING

リハビリテーション特集 愛隣館通信

平成 27 年 05 月 10 日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアページ

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp



(写真:前列右からチーム・アイリーンズ 熊本、福原、杉山/後列スタッフ 藤井、鈴木) 撮影:竹下 敬称略

ました。
と良いな!と思
愛隣館優勝で
あります。今
親善オセロ大
六月には、施
です。

設の方との交流が
でき楽しい一日を
過ごされたよう
分県「太陽の家」、アイリーンズは惜しくも三位
した。悔しい思いをされたと思いますが、他の施
間とコマ数との緊迫した戦いとなりました。
優勝は「障害者支援施設くまむた荘」、二位は大
愛隣館からはチーム・アイリーンズ(福原隆博
さん、杉山伸一さん、熊本潔さん)が出場されま
した。

三月二十一日(土)に、火の国杯争奪九州障がい者オセロ大会が熊本県身体障がい者福祉センター体育館で行われました。
この大会では、県内外から全八チームが参加。
熊本県のみならず、福岡県や大分県からの参加も
ありました。

第三回火の国杯争奪九州障がい者オセロ大会
ケア課
藤井 優子





館長

三浦 貴子

春号
おかげさまで、数え切れないほど多くの方々の手により、母が突然の病氣から回復しました。入院と手術を繰り返した、亡父の側にいたのは20年前。久々に入院に付き添って、医療が利用者ニーズに添って確実に進化していることを実感し、心からありがたいと感ずる日々でした。

平成27年
まず、説明と合意（インフォームドコンセント）は、危険を伴う処置、検査、手術のみならず全てのケアに生きていました。「くしてもよいですか」と、ケアに必ず許可を求められることは、患者を尊重して頂く安心感がありました。

愛隣館通信
次に、ICUではナースが「1対1」対応であることが「画」で患者に示されており、またHCU（ハイケアユニット）は「3対1」対応になることが解りました。かつてのICUは、入室にはキャップとガウン着用という雰囲気でしたが、キャップとガウンがありません。そして、主治医から「ICUは24時間面会可能です」と何度も言われて頂き、本人も家族も励まされました。

お隣の方はずっと「嵐」のCDを聴かれています。大相撲の千秋楽の日は移動式テレビをベッドからご覧になっている方もおられ、垣間見て通りの

が嬉しくなりました。重篤な状況でもその人らしく、少しでも楽しむことを大切にされていると思います。

「ちよっと手を動かしても、顔を横にしても、すぐ看護婦さんが気づいてくれるの」と母。ベッドの足元にナースの机があるケアの近さと、1対1ならではの手厚さでした。HCUは個室仕様でQOLが上がりました。しかし、3対1体制は、本人の側にナースが滞在することは難しいのも良く分かり、機能の違いは前提に、人員配置によって受けることのできるケアの質の違いを体験したように感じています。

最後に、母は多くのドクターとナースの言葉とケアが生きる力となりました。その方々の長時間に渡る激務が、誠意と笑顔に満ちていたことが忘れられません。私達の提供するサービスを確かめ、進歩していかなければと、二人ともそれぞれに心に決めております。

藍綬褒章受章

春の褒章の受章者が、四月二十九日に発令され、愛隣館の三浦貴子館長が、消防功労により公衆の利益に尽くした人に贈られる藍綬褒章を受章しました。

十年前、六千人余りを抱える熊本県女性防火防炎クラブ連合会会長として就任。

女性の連携と災害時要支援者を重視した活動を中心とし、東日本大震災の被災地支援にも率先して取り組みました。

法被には、福祉と共通する地域との絆やネットワークへの大切さへの思いを込めた『共助』の文字が記されています。

「本当に思いがけない出来事が起こり、お祝いを頂いて恐縮しております。一九八八年から共に歩み、利用者を支えること、地域にできることに力を合わせてくれた、歴代スタッフ全員と頂く褒章だと心いたしました。」

三浦貴子

法人愛隣園理事会・評議委員会

三月十五日(日)午前、愛隣倶楽部にて社会福祉法人愛隣園理事会・評議委員会が開催されました。

平成二十六年
度補正予算及び平成二十七年
度計画・予算が審議され承認
されました。また、新年度から



計処理が新会計基準へ移行することに伴う経理規定変更も承認されています。併せて理事・監事の改選についての審議も行われ、新任理事として、岡山陸様（山鹿市鹿央町）、田中和平様（山鹿市寺島）、迎田浩二様（山鹿市津留）が選ばれました。

クローズアップ愛隣館⑬

ケア課

下田 広幸

皆さんこんにちは、下田広幸(五十五歳)です。平成十二年のある日。約二十年勤めていた製麺工場(山鹿市)が廃業となり自宅にいた私に、三浦館長より声をかけてもらいました。「愛隣館で外作業をやらないか」と。

まずは一週間作業をすることになり、その仕事ぶりが認められ愛隣館で勤めることになりました。勤務時間は月曜から金曜までの一日三時間で始まり、並行して週一回水曜日にデイサービス(当時)を利用。愛隣倶楽部が出来た現在は、入居棟と両方の外作業をメインに行っています。雨天時には窓を清掃しています。

趣味は走ることです。健康のために三十年走り続けており病気知らず、山鹿温泉マラソン大会には毎年出場していました。

おかげ

さまで、現在は日中一時を利用しながら、仕事にも恵まれ充実した毎日を過ごしています。



訪問歯科診療

月二回(第二・第四水曜日)、山鹿市の原賀歯科医院(原賀滋久院長)による訪問歯科診療が行われています。

歯科医師一名・歯科衛生士一名による訪問歯科診療は、通院し治療を受けることが困難な入居者を対象として実施されています。

治療内容は、虫歯の治療、義歯の製作・修理や調整、歯石除去等と、多岐にわたります。

治療は医務室、居室で行われ、治療を受けることが困難だった利用者にとってなくてはならないものとなっています。

いつも優しく丁寧な診療に入居者一同感謝しています。これからも宜しくお願いします。

バレンタイン家族報告会

サービス管理責任者

田中 裕一

二月七日(土)平成二十六年年度のバレンタイン家



族報告会がディールームにて開催されました。

今年の参加家族は三十五家族・五十二名でした。

生活サービス部(ケア課・看護課・食生活課・リハビリテーション・アクティビティ課)地域福祉部・事務部より事業報告が行われました。

入居者とその家族が一緒にテーブルを囲んでの昼食会。

午後からは、個別面談を開催し、個別支援計画の確認や、来年度に向けたご希望や相談をうかがいました。



内部異動

四月一日(水)付で、職員の内異動があり、サービス管理責任者をはじめ、15名に辞令が交付されました。

生活サービス部、地域福祉部の顔ぶれが変わりましたので、よろしく願っています。

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアピジョンが担っています。

リハビリリ テーション課 特集

理学療法



理学療法士：津田 彩

リハビリテーション課の主な目的は、「基本動作の回復・維持・悪化予防」です。障害や後遺症のある「部位」に着目して、運動的手段による運動療法や物理療法（電気刺激・マッサージなど）を手法として用い、日常生活活動に必要な基本動作（起き上がり・筋力強化・座位保持・車いす移乗・歩行など）の訓練を行います。

理学療法におけるこれら3つ治療方法を組み合わせて自立を促します。

訓練日 月曜日～金曜日
訓練時間 9時～15時30分

障害者支援施設において提供されるリハビリテーションは、利用者の希望や心身の状況等に基づき作成され、理学療法士により、医師の指示に基づき、リハビリテーション実施計画書に沿った提供が行われます。

さらに、リハビリテーションをより有効なものとするため、専門職種によるリハビリテーションの提供のみならず、リハビリテーションに関する情報伝達（日常生活上の留意点、介護の工夫等）や連携を図り、看護職員、生活支援員等による日常生活行為への働きかけを行い、日常生活の自立を目指します。

リハビリテーション 実施計画



基本動作訓練：寝返り・起き上がり・座位・立ち上がり・立位・歩行・食事・排泄等の基本的動作を訓練。



物理療法：温熱・電気・牽引等、患部を温めたり冷やしたり、電気で刺激を与えたりする。



運動療法：関節可動域訓練・筋力増強訓練・持久力訓練・協調性訓練・全身調整訓練。



居室巡回：安静を要する臥床時間の長い利用者の居室を訪問し訓練。

補装具（車椅子、義肢、装具）等の申請、修理、整備等の業務、自助具の作製、福祉用具の紹介を行う他、利用者がより安全で快適な生活を送れるよう日常生活活動全般にわたる相談及び助言を行います。



●リハビリテーションマネジメント
モニタリング会議等を通して、生活機能の維持、改善の観点から評価し、継続的なサービスの質の向上へと繋げる。



●モニタリング
リハビリテーションの実施状況・効果を測定し、他職種の意見も聴きながら、計画変更の必要性を検討するモニタリングを会議として実施。



●リハビリテーションカンファレンス
関連スタッフによって、リハビリテーションカンファレンスを開催し、目標、到達時期、具体的アプローチ、プログラム等を含む実施計画について検討する。



●アセスメント
リハビリテーションについて、ご本人やご家族等の希望を伺う。医師の診察に基づき、関連スタッフ毎のアセスメントを実施。



新しい仲間



入居者

測上 年孝

みなさんこんにちはは、昨年の十二月二十六日に入居した測上年孝です。菊鹿町出身で以前は愛隣館のデイケアを利用していました。

日中はテレビを見て過ごすことが多く、時代劇が好きです。また、体力維持のために訓練室でリハビリをしています。

デイケア利用の時は一日外出の時に宝くじを買うのが楽しみでした。これからも高額当選を夢見て買いたく思います。

まだまだ入居の生活に慣れませんが、日中活動に参加しながら馴染んで行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



入居者

樫川 やす代

二月九日に愛隣館に入居しました、菊池市出身の樫川(はげかわ)やす代です。

趣味は、カラオケとパッチワークです。

まだ入所して日も浅く、入居の方や職員の方の名前が分からないですが、早く覚えて愛隣館で楽しく生活をおくりたいと思っています。

二月二十七日には、初のアクティビティ参加で百華百彩に行ってきました。とっても寒い夜でしたが、竹灯りのオブジェや和傘が幻想的できれいでした。以前山鹿に住んでいた事もあり大変懐かしく思いました。

皆さんよろしくお願ひします。



デイケア利用

藤本 芳久

皆さんこんにちは、二月三日からデイケアを利用している藤本芳久(六十三歳)です。内孫が四人います。鹿北町に住んでいて普段は農業(主に筍)をしています。

歌を聴くのが好きで、特に演歌が大好きです。

デイケアでは五目並べをしたり陶芸をして楽しんでいます。初めて創ったお皿が焼き上がった時は、とても嬉しかったです。これからも色々な作品を創りたいと思います。

皆さん、よろしくお願ひします。

新人職員紹介



デイケア

坂梨 幸治

皆さんはじめまして、十月二十日から働かせて頂

いております坂梨幸治です。年齢は二十三歳(独身)です。出身は山鹿市南島で、今も南島に住んでいます。

愛隣館の前は、福岡県警で働いていましたが、色々と思うことがあり退職しました。今は、毎日楽しく、誇りを持って仕事をしています。

九州看護福祉大学で福祉については、勉強しましたが、実際に働くのは初めてで迷惑をおかけする事が多くあると思いますが、皆様に早く覚えて頂ける様、笑顔と根性で頑張りますので今後ともよろしくお願ひします。

地域福祉部報告懇談会

三月五日(木)の午後二時より、愛隣倶楽部にて平成二十六年年度の地域福祉部報告懇談会が開催されました。

当日は、地域福祉部それぞれの利用者・ご家族の参加がありました。三浦貴子館長の挨拶、及び、障害者制度の情勢説明の後。生活介護事業所愛隣倶楽部、生活介護事業所デイケア、ホームヘルプ、相談支援事業、就労移行支援事業所ぴあワーク、地域活



動支援センターぴあぴあ、多機能型ホームぴあハウ
ス、短期入所、の各事業所から、二十六年年度の事業
報告と次年度の事業計画(案)の説明があり、事務
部より障害者福祉サービスの報酬改定に伴う説明
がありました。

その後は、各部に別れての質疑応答。参加された
利用者、ご家族からの活発なご意見が聞かれました。

自治功労賞受章

一月十八日(日)、山鹿市合併十周年記念式典が、
山鹿市民文化センター文化ホールにて、旧鹿本町出
身の蒲島郁夫熊本県知事を始め、約三八〇人の関係
者が出席し開催されました。

式典では、合併後に福祉や文化、教育、スポーツ
など市の発展に貢献した十八の団体や個人、そして
自治功労者二五〇人に表彰や感謝状の贈呈が行わ
れました。

その中
で、愛隣
館生活サ
ービス部
ケア課サ
ービス管
理責任者
の中村武
光さんが、



永年勤続表彰の部門で、交通指導員としての永年の
功績が認められ栄えある表彰を受けられました。

また、五月十一日(月)、「春の全国交通安全運動」
の発式典(ひだまり)に際し実施される、熊本県

警察本部・熊本県交通安全協会長連名による平成二
十七年度春の交通安全功労者の表彰を受けられる
ことも決定しています。

おめでとございませう。

九州看護福祉大学 歯科衛生士実習

二月十六日(月)から二十日(金)と二十三日(月)
から二十七日(金)までのそれぞれ五日間、九州看
護福祉大学口腔保健学科の三年生(各二名)が実習
に來られました。

実習生の方々は、愛隣館スタッフより入居者の
方々とのコミュニケーションの取り方、車椅子の押
し方などを実習。『食前健口体操』や正しい歯磨き
の仕方などを入居者の方々に対して実践しておら
れました。

実習の最終日

には食堂にて、
顎下腺・耳下
腺・舌下腺を音
楽に合わせてマ
ッサージし、唾
液を出しやすく
する『ふれあい
体操』を行い、
参加者の皆さん
と体操を通して
コミュニケーションを
図ってお
られました。



オムロン ハンドボール大会観戦

ケア課

井上 靖啓
やすひろ

二月十一日(水)午後六時から山鹿市総合体育館
にて行われた。オムロンVSソニーセミコンダクタ
のハンドボール日本リーグの対戦に、入居者三名と
職員二名で観戦
に行きました。

序盤はオムロ
ンのミスがあり、
ソニーにリード
を許すが巻き返
し、21ー18で
オムロンが勝利
を収めました。

今回、私にと
って、初のハン
ドボール観戦で
した。スタッフ
の方のご厚意に
より来賓席の横に席を作って頂き、目の前で迫力の
ある試合を見ることができました。会場全体が試合
の展開に興奮し、入居者の方も大変満足された観戦
になりました。



熊本城マラソンに参加して

事務・総務部

梅崎 美智子

昨年エントリーするも落選、大会当日は応援団と

して会場へ。10分ほど今年二度目のエントリー、当選(してしまった...)。そして二月十五日、『(年なので)今年完走できなかったらもうムリかな...』と思いつつ「フルマラソン」へケア課の清水誠一郎さんと初参加。選手の奇抜な仮装に笑い、沿道の応援に感動しながら前半の20kmまでは一緒に快調な走り。後半は未知の世界で自分の体の動かし方が分からなく...弱気になる自身の闘い!随分歩きまし

たが、清水くんより12分ほど遅れて5時間56分49秒で完走。



スタート前の梅崎さん・清水くん

マラソン後はゆっくりと温泉&マッサージ&乾杯!感動の素晴らしい一日でした。優しく指導をしてくださった「ランプロ教室(日赤健康管理センター)」のスタッフと仲間たち、応援に来てくれた同僚・家族、深夜一緒に練習した友人、沿道で声援をくれた地元の方々、一緒に走った清水くん、そして人並み以上に丈夫な体に産み育ててくれた両親に深く感謝します。

第四十回JA植木まつり

ケア課

古荘 智也

二月二十日(金)熊本県農業公園にて開催されて

いるJA植木まつりへ利用者の方五名、職員五名で行ってまいりました。

今年で四十回目を迎える記念となり、会場内は人も多く、見て回るのも一苦労でした。皆さん思い思いに花や樹木を觀賞されました。食べ物の良い匂いにつられ、あっち試食こっち試食をしながら思い思い購入されていました。

また、入所後、初外出となった淵上さんは梅の鉢を丸にするか四角にするか悩まれた末、悩み過ぎて決めきれずコイントスで決めるという微笑ましい光景もありました。帰りの車内では、皆さん何を買ったとか、知り合いに会ったとか、思い出話に花が咲いておりました。



山鹿灯籠浪漫・百華百彩

ケア課

松見 尚寛

二月二十七日(金)に入居者二名、職員二名にて百華百彩へ行ってきました。

風が強く肌寒い気候でしたが、開催期間最後の週末という事で、たくさんのお見物客でにぎわっていま

した。

みんな夕食を食べた後、八千代座周辺を散策したのですが、竹灯籠の柔らかな灯りが幻想的で寒さも忘れ皆で見入っていました。

愛隣館入所後、初の外出行事に参加された樋川さんも「楽しかった」と笑顔で話していました。

風が強く竹灯籠の炎がすぐに消えてしまい、スタッフの人達が慌ただしく灯をつけて回られていました。この美しい竹灯籠の光の裏には、たくさんの人達の努力があるんだな〜と感慨深く思いました。



愛隣館自治会からのお知らせ

今年度より自治会役員の体制が変更されました。会長一名、会計一名の計二名による運営方法は同じですが、新たに福原隆博さんが常任会計となり、今後は、会長のみの選出、交代が年度毎に行われることとなります。

本年度の会長には、黒田敏文さんが就任されました。

また、一時中断していた自治会費の徴収も再開されます。(年会費:二〇〇〇円)